

- ALPS処理水の処分に関し、IAEA(国際原子力機関)への情報提供や各国・地域への丁寧な説明等を通じ、国際社会に対し、**高い透明性をもって積極的に情報提供**を行ってきた。
- 基本方針も踏まえ、今後とも、**科学的根拠**に基づいた正確な情報を提供し、ALPS処理水の現状を含め、東電福島第一原発の廃炉に向けた取組と対応について、透明性をもって国際社会に対する丁寧な説明を行い、**国際社会の理解醸成**に努めるとともに、**風評対策**にも取り組んでいく。

これまでの取組実績

- ・ 東電福島第一原発の状況に関する在京外交団等向けの説明会(事故以降、計108回)
- ・ 在京外交団等・IAEAへの廃炉作業に関する通報(原則毎月1回)
- ・ 在京プレス・外国プレスへの説明会の実施
- ・ 国際会議(IAEA、OECD/NEA(経済協力開発機構/原子力機関)等)における説明
- ・ IAEAレビューミッション受入れ(計16回:廃炉4回、除染2回、海洋モニタリング10回)
- ・ 英文広報資料の作成・配布 等

基本方針の公表を受けた取組

これまでの取組を**着実に継続・強化**しつつ、

- ・ 在外公館等を通じ、**科学的根拠**を示しつつ、我が国の取組に対する理解を促進。
- ・ **国際法や国内外の規制・ルールを確実に遵守し、安全性を確保**することを積極的に発信。
- ・ 国際社会に対する透明性を確保するため、**IAEAに国際的なレビューを要請**。